

【2011年 子どもたちに希望を！新エネルギーに取り組むスウェーデンの人々と出会う旅 参加者の感想】

横松 心平さん（作家）より 旅の収穫

考えてみると、面識のない人たちとともに団体ツアーという形で旅をしたのは、初めての経験だった。これまでの旅は、すべて自分で計画を立て実行してきた。

今回、「子どもたちに希望を！新エネルギーに取り組むスウェーデンの人々と出会う旅」に参加してみて、二つの発見があった。ひとつは、そもそもの旅のテーマである、持続可能な社会づくりについてである。スウェーデンに行ってきたのは、やればできるのだということと、その背景には確固たる民主主義の存在があるということである。そして民主主義の醸成のためには、教育が重要であると人々が考え、実践していることにも現場で触れることができた。ここまでテーマに対して、短い滞在時間で掘り下げることができたことに驚いている。

もうひとつの発見は、この第一の点に密接に関係している。テーマに切りこんでいけたのは、持続可能な社会づくりに奮闘している人々に直接会って話を聞いたからである。日本で本を読んでいるだけでは、到底わかりようもなかったことが腑に落ちた。そのような人々との出会いは、自分で計画した旅では、おそらく作ることができなかった。専門家が旅作りに関わることによって、ツアーの価値はぐっと高まるのだということが、第二の発見であった。

ただ珍しい物を見に行くのではなく、旅人の日常生活を変えてしまうような旅を経験させてもらった。旅の参加者それぞれの中に、この旅は大きな刻印を残したのだろう。だからこそ、参加者同士の交流は、帰国後も続いている。おもしろいことだ。

これは、リボーンの特質であるのかもしれない。あるいは、エコツアーというものの本質なのかもしれない。どちらにせよ、このような旅を国内外各地で催行しているのだとすれば、あとは自分に合ったツアーを探せばよいだけだ。

スウェーデンへの旅は今後、日本を持続可能な社会にどう変えていくのか、考えていくのに、大きな力をくれた。きっかけづくりというよりも、これからのぼくたちの挑戦を長きにわたって支えてくれるような気がしている。スウェーデンでの人たちが頑張っているのだから、ぼくたちも、と思えるのだ。

行程表 持続可能な社会を目指すスウェーデン市民と出会う旅

月日	都市名	交通機関	時間	行程	食事
2/4(土)	(日本発) (ストックホルム着)			(空路、スウェーデン・ストックホルムへ) 各自 ほとんどの便は同じ日のうちに到着。 1人で行くのが不安な方はリボーンに相談を。スタッフと同じ便を手配。 ホテルチェックイン(現地ホテル集合)【ツアー開始】 ＜ストックホルム泊＞	機
2/5(日)	ストックホルム 滞在	公共交通 午前 午後		ツアーオープニング[案内役レーナさん挨拶、参加者、予定紹介など] ストックホルム市街地エコ散策と スウェーデンのエネルギー事情視察や原発運動に関わる市民と交流 できるだけオーガニックなウェルカムディナー ＜ストックホルム泊＞	朝 夕
2/6(月)	ストックホルム ウプサラ	公共交通	午前 午後	キリスト教と大学の歴史の街ウプサラへ 原発使用済燃料最終処分場予定地エストハンマー(Östhammar)訪問視察 ＜ウプサラ泊＞	朝
2/7(火)	ウプサラ滞在 ウプサラ発	公共交通 寝台列車	午前 午後 22:02	食材の廃棄物からバイオガスを作る施設見学 ウプサラ自然学校 夕食後、一路、夜行列車で北上します。 ＜寝台列車泊＞	朝
2/8(水)	ウーメオ着	公共交通	6:13 午前 午後	ウーメオ駅でバルブロ・カッラ(Barbro Kalla)さんが出迎え。 幼稚園の冬の野外活動見学 (あるいは、自由行動やSPA体験休息も可能) 自由化された電力市場。選べる電力の種類と電力会社 木質ペレットの個人宅訪問 ＜ウーメオ泊＞	朝
2/9(木)	ウーメオ滞在	公共交通	午前 午後 夜	組合式風力発電所見学 市民団体と交流 (ウラン採掘の可能性や対岸フィンランドでの原発建設について) バルブロさんの家で地元の方々も交えてお別れディナー ＜ウーメオ泊＞	朝 夕
2/10(金)	ウーメオ 発 ストックホルム 着	公共交通 航空機	午前 午後 夕刻	バルブロさんとワークショップ「日本の持続可能で明るい未来へ」 空路、ストックホルムへ 空港到着後、そのまま離団し、別行動も可。 ＜ストックホルム泊＞	朝
2/11(土)	(ストックホルム発)		午前	ホテルチェックアウト【ツアー終了】その後、各自空港へ	機
2/12(日)	(日本着)				機

※上記予定は訪問先ややむを得ぬ事情により変更になる場合があります。

※「公共交通」には徒歩も含まれます。

※企画協力：持続可能なスウェーデン協会 (Sustainable Sweden Association)

※現地集合、解散については詳しく説明しますので安心してご相談ください。

★円高とシーズンオフが海外スタディツアーのチャンスです！

★前回のスウェーデンツアーの感想やレポートはHPへ！！

◆お問合せ・お申込み先

有限会社 リボーン<エコツーリズム・ネットワーク>

東京都知事登録旅行業第2-4850号 (社)全国旅行業協会 会員

TEL: 03-5363-9216

FAX: 03-5363-9218

URL: <http://reborn-japan.com>

E mail: eco-tourism@reborn-japan.com

〒160-0022 東京都新宿区新宿2-2-1-1203

総合旅行業務取扱管理者：志岐健一郎 担当：志岐まゆ子

